

雨上がりのムツとする空気に、蚊取り線香のかおりに、夏の訪れが感じられるようになってきました。

この夏、山に海に、気合い入れて臨みましょう！

イベント案内

夏山登山・八ヶ岳

～雄大な山並みと、高山植物を求めて～

日 時：7月16日（金）夜出発～18日（日）

目的地：南八ヶ岳（長野・山梨県／赤岳～横岳～硫黄岳）

集合時刻：7月16日（金） 午後10時

集合場所：JR千里丘駅〔JR京都線・大阪駅より普通で約15分〕

（改札を出て左前方の階段を下りた所。喫茶店 CITY の前。）

参加費：¥23,000-

装 備：登山靴（トレッキングシューズ／ハイカット）、ザック（40L以上）、長袖、長ズボン

個人備品：シュラフ、着替え、防寒具、雨具、水筒、帽子、ヘッドランプ（懐中電灯）、
カップ、スプーン、タオル、常備薬、軍手、サブザック

個人備品のほかに、全体の備品（テント、燃料、食料ほか）を分散してお持ちいただきます。荷物は軽くする事を念頭に！

シャツは速乾性のもの、レインウェアは防水透湿性のものが有効です。

*3000m級の山です。朝晩は冷え込みます。しっかりしたシュラフ、登山靴をご用意ください。テント泊です。

予定コース：17日／美濃戸登山口〔1490m〕～美濃戸山荘～（南沢）～行者小屋〔2354m〕～テント設営～（昼食）～行者小屋～（地蔵尾根）～地蔵の頭～三叉峰～横岳・奥の院〔2829m〕～硫黄岳〔2760m〕～赤岩の頭～赤岳鉱泉～行者小屋（泊）

18日／行者小屋～（文三郎道）～赤岳〔2899m〕～地蔵の頭～（地蔵尾根）～行者小屋～（昼食）～（南沢）～美濃戸山荘

コースは予定であり、みなさんの状況、時間、天候等により変更いたします。

地蔵の頭～横岳はクサリやハシゴのかかる難所のようなので、がんばりましょう。

夏山登山第2弾！

～そろそろ山にも慣れてきたみなさん、夏山登山に挑戦してみませんか？～

8月6日（金）夜出発～8日（日）で、登山に行きます。行き先は、北～南アルプス方面を考えております。テント山行。

予算：¥23,000～28,000／参加希望者は、7月20日までにご連絡ください。

離島ツアー

～姫路の沖合い、家島・男鹿島ツアー～

日 時：8月28日（土） 早朝出発～日帰り

目的地：家島諸島・男鹿島

参加費：¥8,000～12,000-

*島では釣り&バーベキューを予定しておりますが、人数が集まれば地引網をする予定です。みなさま、ふるってご参加ください！

参加希望者は、8月10日までに、ご連絡ください。

9月15日にはハイキング、10月1日夜～3日で長良川カヌーツアーを計画中です。秋のイベントへのご意見も、お待ちしております。

イベント報告

(NO. 34)

稲村ヶ岳登山&キャンプツアー

奈良県・大峯山系 稲村ヶ岳/1725m 6月18日（金）～20日（日）

梅雨時期とは言え、昨日まではずーっと降らなかったのに…。週末の天気はどうもよくないようだ。なんとか、晴れることを願いたい…。

夜、大阪を出る頃には小雨がパラつく。

午前2時、奈良県は稲村ヶ岳への登山口、洞川温泉に到着。いよいよ、雨は激しくなっている。朝にはやんでいるだろうか…。

期待もむなしく、降り続く雨。強行するにはきつすぎる。やむなく予定を変更。近くの鍾乳洞を見学、周りを散策して、温泉めぐりでも…と言うところで、ようやく止んだ。

午前10時。なんとかこのままもってくれ！と期待しつつ、遅い出発となった。

登山口にたどり着くまでに、再び小雨が落ちてくる。天を仰ぎつつ歩を進める。

杉の樹林帯の登山路にはいると雨はかからなくなったが、最初からなかなかの急登に、たちまち汗が吹きだす。

雨よりも、汗でぐっしょりとシャツが濡れた頃、法力峠に到着。

心配していた雨もたいして降ることなく、時には日が射すようにもなってきた。しかし、急ではないにせよ、延々と続く登山道にも疲れてくる。景色が開けないのが、また残念であるが、ときおり木々の間から覗く山並みが登ってきた高度を感じさせる。

後押しするのは、冷たい心地いい風だ。

山上仕の稲村小屋についたのは、昼も過ぎた1時前。早速、ラーメンを作って遅い昼食となった。

ここから、頂上までは1時間足らず。しかし、天候の状態と時間を考えると、ここらあ

たりで引き返す方が賢明であると判断した。

稲村ヶ岳頂上は次回の機会に譲るとして、大日山が臨めるところまで行く。

標高約 1600m 地点、今回はここまでとなった。時刻は 1 時 50 分。天候もさることながら、山中で日が暮れることのほうが怖い。

頂上からの展望を逃したものの、次の目的地が温泉となると、心も浮かれてくる。

それにしても、やはりこんな時期に登山をする物好きはいないのか、下山途中でようやく一組の登山者に出会っただけであった。

山行中はたいした雨にもあわず、無事洞川温泉へと到着。延々とひたすら歩いた後の、温泉はまた格別である。

キャンプ地は、白の平キャンプ場。天気が悪いせいか、ガラ空きである。このオーナーは話好きで、いろんなことを教えてくれ、説明してくれる、なかなか面白い人である。

夕食は、PAOのキャンプでは定番(?) となりつつあるすき焼きだ。

温泉にビールにすき焼き、とくりゃ疲れも吹っ飛ぶ。

再び、激しい雨が降り出した。山行中でなくてよかった！よかった！！

翌朝まで雨は降り続いたが、昼前になりようやく青空が見えてきた。晴れば、やっぱり気持ちがいい。

キャンプ場のすぐ隣にある、「洞川エコミュージアム」をのぞいて見る。山や自然をテーマにした展示や情報があり、思っていた以上に充実している。無料なのもうれしい！

帰りには、天の川温泉へと立ち寄り、帰路へとついた。

【栗原隆一 記】

(NO. 35)

藤原岳ハイキング

三重県・鈴鹿山脈 藤原岳／1120m 6月26日(土)

降水確率は 50%。さらに、大雨の予報も…。ほんとに行くのか？

どんよりと雲ってはいるものの、雨は降っていない朝を迎えた。決行である！

しかし、と言うか、やっぱりと言うか、前日までの雨に、雨の天気予報のためか、キャンセルが相次いだ。それでも、総勢 18 名となり、貸切バスで千里丘を出発。

名神を進むにつれ、雲の間から日も射すようになって来た。なんとか、天気はもちそうである。少し、ホッとする。

峠越えのバスはスピードも出せず、それにやはり鈴鹿まではちょっと遠かったか？藤原岳のふもとに到着したのは、11時半をまわっていた。

聖宝寺からの階段を登りつめ、登山道に入る。早くもここで、汗がにじむ。

1 合目の水場、長命水を過ぎ、濃い緑の樹林帯をもくもくと歩く。標高 1120m とは言え、かなり低いところから登ることになるので、結構な距離に時間もかかる。

2 合目、3 合目と休憩を入れつつ進む。もう、汗はびっしょりだ。

時刻は 1 時半。雨が降らないうちに、と 6 合目で昼食をとる。

もう待てない！ここで、ビールだ！！一息つく。それにしても、なんとかここまで天気も、もってよかった。

再び、急登を進む。今回も、ハイキングと言うにはちょっと厳しいか？

8 合目を過ぎると、展望も開けるようになってきた。9 合目で再び休憩。ここからの展望はなかなかのものではあるが、ガスがかかっていたのがなんとも残念！

しばらく歩くと、藤原山荘に到着！頂上までは、後 15 分と言ったところだが、頂上からの展望はガスで期待できないし、それよりも時間がなかった。今回は、ここまで。

しばしの休憩のあと、下りにはいる。

少しペースを上げての下山。しかし、ぬかるんだ地面に疲れも出てくる頃、そのへんは慎重に歩を進める。

ようやく、全員が下山したのは、午後 4 時半。振りかえり見れば、大きくそしてなんとも高い藤原岳がそびえたっている。う～ん、この山をよく登ってきたなあ。みなさま、おつかれさまでした。

このあと、登山のあとにはやっぱり温泉！と言うことで鈴鹿さつき温泉へ立ち寄り、ゆっくりと汗をながし、気分爽快。出発する頃に降り出した雨は、すぐにどしゃ降りとなって、この日止むことは無かったのです。

大阪までの道のりはまだまだ遠く、途中サービスエリアで軽く食事をとって、バスの中では宴会状態となっていく。みんなとも話ができるし、運転しなくてもいい、寝ててもいいし、おまけにビールが飲めるなんて！やっぱり、バスツアーは楽チンでいいなあ！！

遅くなってしまいましたが、午後 10 時前に無事千里丘駅に到着。

みなさま、ホントにおつかれさまでした。そして、不安な天候状態であったにもかかわらずお集まりいただきまして、ありがとうございました。

またのご参加をお待ちしております。

【栗原隆一 記】

T e n t S i t e

< P A O イベント参加アンケート・回答報告 >

藤原岳ハイキングで、いただきましたアンケートのご意見を紹介いたします。

【今回のイベントについて】

- ・ハイキング、というより登山という感じでけっこうしんどかったです。けど逆にハードな山、友達とは登れないのでよかったかも。【11-091 かなえちゃん】

- ・自分の体力の無さを差し引いたら、すごく楽しい企画でした。【11-130 M i k a】
- ・久しぶりにグループで登山という体験をして新鮮でした。とても楽しかったです。

【11-133 みーちゃん】

【サークルの雰囲気について】

- ・なごやかな感じでなじめそうです。
- ・初めての参加でしたが、すごく親近感のある雰囲気を感じました。
- ・だれでも安心して参加出来る感じがしました。

~~~~~

アンケートにご回答いただきましたみなさま、ありがとうございました。

<サークルの運営について>

今回の藤原岳ハイキングでは、前日までの雨、また不安な天候、天気予報は雨と言う事もあって、ある程度は致し方ない、とは思っておりますが、当日に多数のキャンセルができたことは残念に感じております。

たいした規則もなく、サークルが運営できているのは、みなさまとの信頼関係があつてこそ、成り立っているのです。

入会資格を原則社会人とし、大人のサークルとしている事の意味を、お考えください。

今後の運営について何人かの方からご意見いただきました。ありがとうございました。ただ、私の今の考えでは、これまでどおりの方針でやっていきます。

アウトドアが好きで、やってみたいと言う意思があるのなら、初心者の方も大歓迎ですし、このサークル活動を通じて好きにもなってもらいたい。そして、社会人としての節度と良識があるなら、今以上の規則は必要ないと思っております。

【栗原隆一】

## PAO会長・栗原隆一の海外放浪記

### II ネパール編

#### 5 チトワンへ

砂煙をもうもうと巻き上げながら、山岳地帯をこれでもか！と言うスピードでガクンガクンと突っ走るオンボロバスに乗って、もう10時間も揺られたらどうか？

ようやく、目指すチトワン国立公園の入り口、ソウラハ村へと着いた。

バスを降りると、一息つく間もなく「どっ！！」と人に囲まれた。ホテルの客引きである。疲れた身体に、フラフラの頭で交渉する気力も残っていない。適当に決めて、迎えの車に乗りこんだ。

車にはもう1人日本人が乗りこんできた。聞けば、彼も大学生で1人で放浪の旅を続けていると言う。背はそんなに高くないが、なかなかたくましい彼は合気道をやっていると言う、原ちゃんである。

ここでの目的は、同じのようだ。明日、一緒にジャングルへ向かうと言うことで話がまとまった。

ここでは、ホテルと言っても、ただベッドがあるだけの建物で、ロッジと呼ばれている。電気もなく灯りはロウソクだけだ。

夕方にジャングルのガイドを探しに出た。ロッジでもジャングルツアーを行っているが、国立公園内を車でまわって1人600ルピーだと言う。まあ、ツアーと言ってもここのおヤジがガイドとなって案内するだけのものであるが…。ここでの1泊が30ルピー、1日100ルピー前後で旅をしている僕たちにとってはバカ高い！何とかして安いガイドを探すのだ！

国立公園と言っても、柵も無ければ、おりも無い。公園の中でも外でも同じように動物は見られると言う、そのガイドは公園の外なら1人300ルピーで行くと言う。なるほど、それももつともだ！と納得した僕たちと交渉成立。先立つものはカネである。

翌朝5時出発の約束をして、そのガイドの家を出ると、もう真っ暗闇である。頭上には今にも降ってきそうな星が輝いている。

「・・・」言葉も出なくなってきた。やはり、ガイド料をケチったのがいけなかったのか？ガイドはまだ来ない…。

すっかり明るくなった頃、寝坊をしたガイドが、ヒョロヒョロとやってきた。あまり、頼りになりそうに無いガイドである。あまりに険しい顔つきになっていたのか、僕たちの顔を見ると、あわてて準備をはじめ、運転手を呼びに走って行った。

ようやく準備のできた車に、不機嫌な僕たちとすまなさそうにしているガイド、それになぜかニコニコとうれしそうな運転手が乗りこむと、勢いよく国立公園とは反対の方へと向かって走り出した。

20分程も走ると、ようやく車1台が通れるような細い道になってきた。緑は濃くなり、川が流れ、沼も見える。まさに、ジャングル。いやがうえにも気分は高まる。何が出てきてもおかしくはない。

「サイヤー！！」突然、運転手が叫んだ！いや、ちがう。ネパールの彼は「ガイダー！！」（ネパール語でサイのこと。）と言ったのだ。指差す方を見ると、遠目に小さくではあるがハッキリとサイの姿が見て取れる。僕たちも「オオッ！サイヤ！！うわあ！ホンマヤ！！」とうなる。

車を止めると運転手が「写真を撮ってきてやる」と言うが、いやいやここまで来たなら行かねばなるまい！！

僕たちの足は、もうジャングルの奥へ向けて進んでいた。

(次号につづく)

PAOホームページ公開中！！

みなさん、もう見ていただけましたでしょうか？PAOのホームページ！

アドレスは、<http://odcpao.com>

PAO通信・PAOの活動に関するご意見、ご希望また企画や体験談などお寄せください。お待ちしております。

アウトドアサークルPAO 栗原隆一

Eメールでも受付中！アドレスは：[info@odcpao.com](mailto:info@odcpao.com)

99.7.12